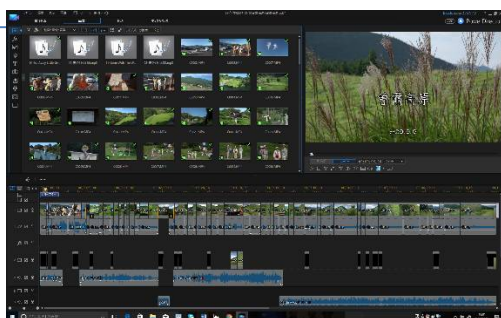


## 編集結果のデータ保存について (パワーディレクターで編集後データの保存の仕方)

①編集の途中、或いは編集が終わりました。

＜編集画面＞



データ保存三パターン

- ア 編集の状態を保存する。②
- イ 編集結果をファイルで保存する。③
- ウ 編集結果をDVDやBDで保存する。⑩

「ア」は必ず行ってください。

「イ」と「ウ」はその後の使用目的で行ってください。



②編集の状態を保存する方法。

目的: 編集を再開する事が出来る。(拡張子.pds のファイルが出来る。)

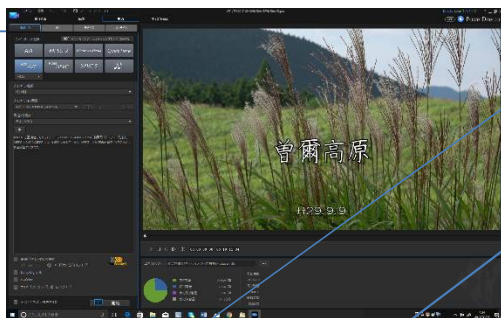
(2-1)初回…ファイルを開き、「プロジェクトに名前を付けて保存する」から保存場所とファイル名を指定し保存する。但し、外付けHDDに保存する時は「プロジェクト素材をまとめて保存」から入る。(他のパソコンでも作業ができる為に)

(2-2)2回目以降…フロッピーディスクマークをクリックする。

③編集結果をファイルでHDDに保存する方法…「出力」をクリックする。

目的: 作品の仕上がりをパソコンでチェックしたり、完成品をHDDに保存したり、YouTubeにアップ出来る。

＜出力画面＞



④「標準2D」を選択

⑤「ファイル形式」・「プロファイル名/画質」の選択  
プロファイルの種類＝デフォルト

(5-1)HDの場合

ファイル形式＝H.264 AVC、M2TS

プロファイル名/画質＝

AVC 1920x1080/60i(24Mbps)

拡張子＝.m2ts

(5-2)4Kの場合

ファイル形式＝XAVCS、MP4

プロファイル名/画質＝

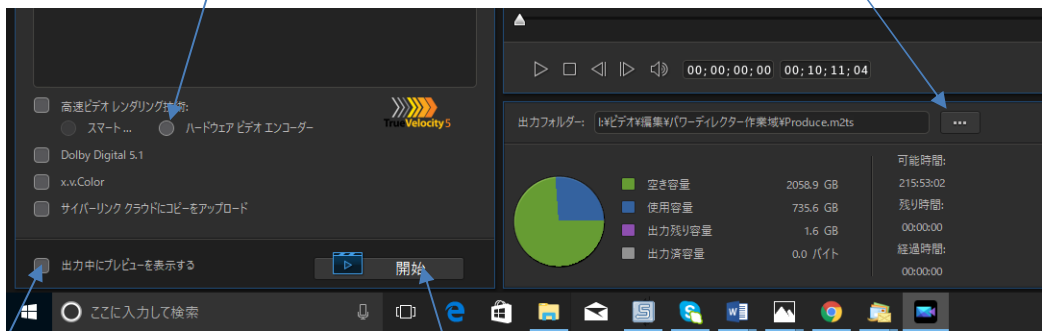
XAVCS 3840x2160/30P(60Mbps)

拡張子＝.mp4



⑥「ハードウェアビデオエンコーダー」をONすると画質が悪くなるとの体験談があるのでOFFとする。

⑦「…」をクリックして出力先フォルダーを指定する。



⑧「出力中にプレビューを表示する」に✓マークを入れる。

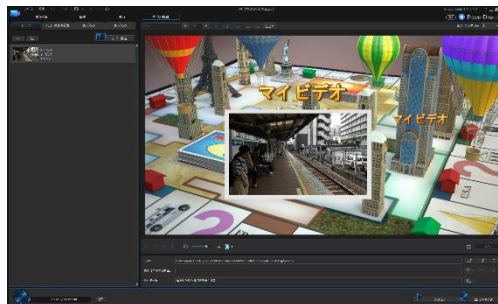
⑨「開始」を押しスタートさせる。



⑩編集結果をDVDやBDに保存する方法・・・「ディスク作成」をクリックする。

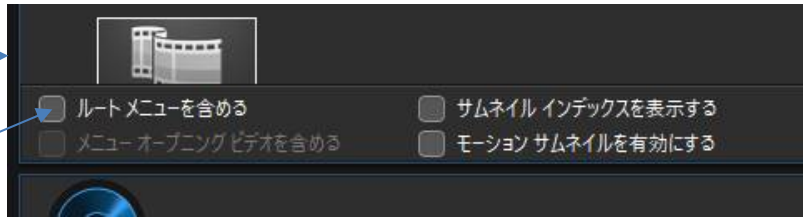
目的: 作品の仕上がりをTVでチェックしたり、完成品をDVDやBDに保存する。

<ディスク作成画面>



⑪「メニューの基本設定」をクリックする。



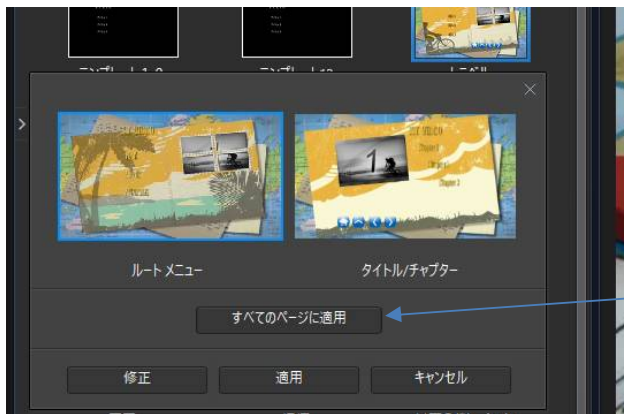


⑫「ルートメニューを含める」は off



⑬自分の好きなメニュー画面を  
テンプレートの中から選ぶ。  
例として「トラベル」を選ぶ。

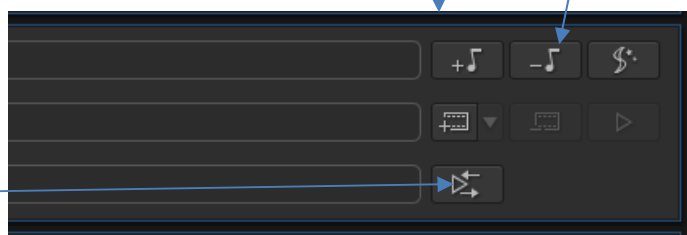
※メニューを作成しないときは「メニューなし」を選ぶ



⑭「すべてのページに適用」をクリック

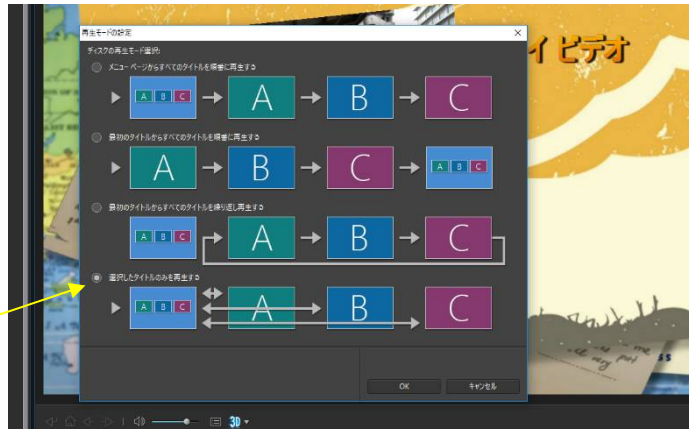


⑮メニューのBGMを消すために  
これをクリックする。

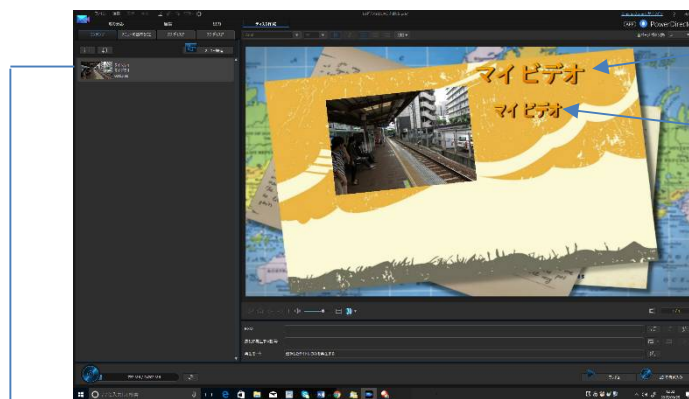
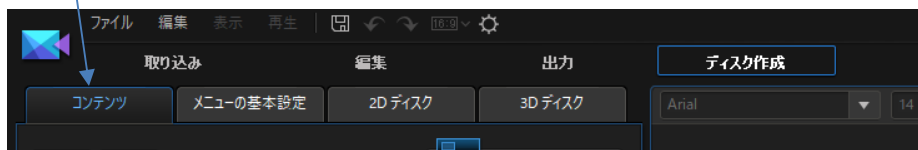


⑯これをクリックする。

⑰「選択したタイトルのみを再生する」を選択する。

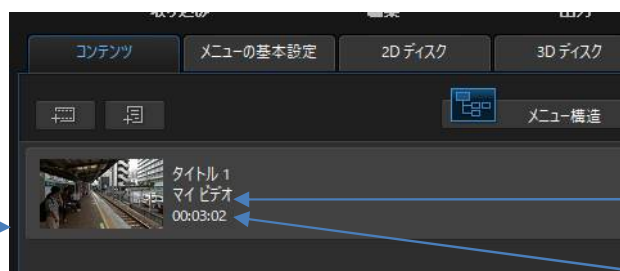


⑱画面の文字を修正するために「コンテンツ」をクリックしコンテンツに戻る。



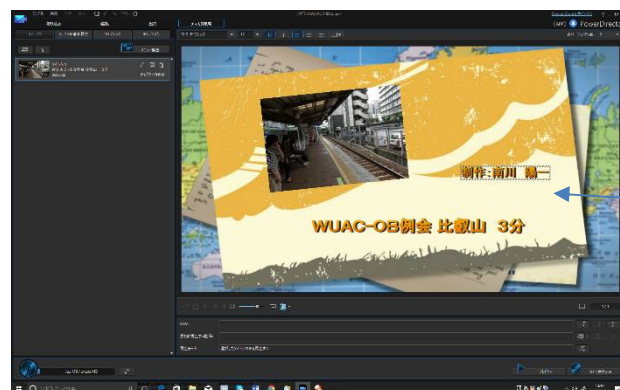
⑲この文字の修正は、これをクリックすることでできます。

⑳この文字の修正は



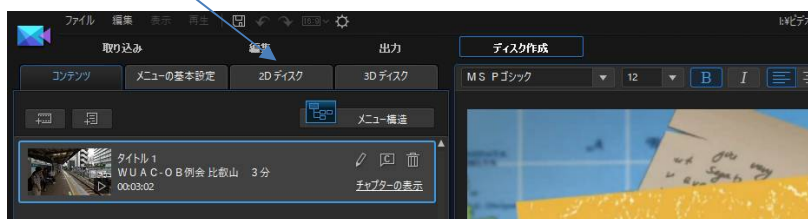
㉑この「マイビデオ」の文字を修正すればよい。

㉒これは作品の時間



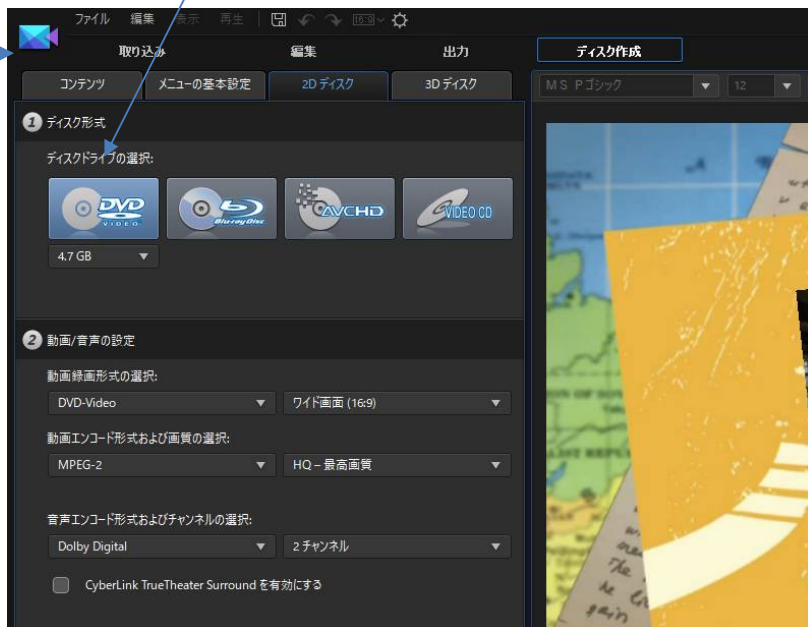
㉓それぞれの文字の大きさを決め、移動してレイアウトを決めます。

④「2Dディスク」をクリック



⑤「音声エンコード形式およびチャンネルの選択」を行う。  
「DolbyDigital」「2チャンネル」を指定  
「CyberLinkTrueTheaterSurround」は通常 off

⑥「ディスクドライブの選択」を行う。



(26-1)DVDで標準画質の場合・・・DVDをクリック

「DVD-Video」「16:9」「MPEG-2」「HQ-最高画質」

(26-2)BDでHD画質の場合・・・bをクリック

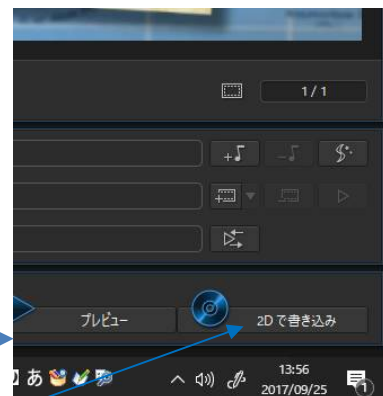
「MPEG-2」を指定する。・・・H.264を指定すると、プレーヤーによっては再生できないことがある。

「HD 1920x1080/60i」

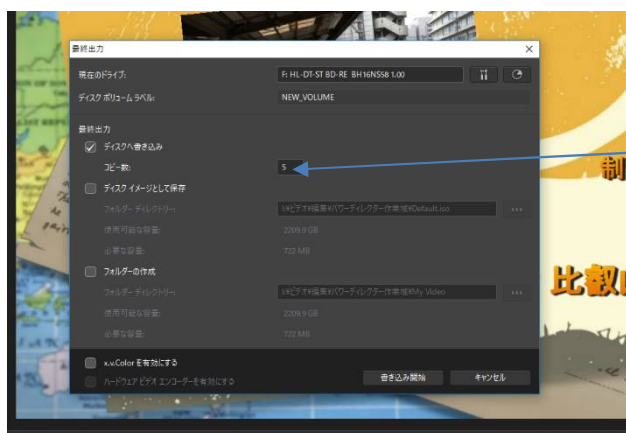
(26-3)DVDにAVCHDのフォーマットでHD画質の場合・・・AVCHDをクリック

「H.264」・・・プレーヤーによっては再生できないことがある。

「HD 1920x1080/60i」



- ⑳ パソコンにDVD或いはBDをセットして「2Dで書き込み」をクリックする。
- ㉑ 繰り返し書き込むことのできるDVD-RWかBD-REでテストされることをお勧めします。



㉒ ここでコピー枚数を指定できます。